

安中市子ども食堂連絡協議会 設立記念大会



# 子ども食堂フェスタ in 安中

vol.1

August 18, 2019



安中市子ども食堂連絡協議会



# 「子ども食堂フェスタ in 安中」に寄せて



安中市長  
茂木 英子

安中市子ども食堂連絡協議会の設立記念大会並びに子ども食堂フェスタ in 安中の開催、おめでとうございます。心のこもった温かい食事や人々が楽しい時間を過ごせる場所を提供して下さる皆様の日々の努力に対し、心より感謝と敬意を表します。

安中市子ども食堂連絡協議会は活動の推進とあわせ、新たに子ども食堂をはじめたい人、食堂に行きたい人、お手伝いをしたい人を結びつける活動も展開されていると伺っています。市では、本年度、子ども食堂支援事業として、連絡協議会への補助を予算化する他、子育てや福祉、保健、教育関係をはじめ、庁内の組織横断的に「協働」する体制を整えました。

また、本市は、誰もが得意なことでまちづくりに参加できるよう、「市民総動」のまちづくりを進めていますので、子ども食堂の取り組みを通じ、人と人が繋がり、心豊かな地域づくりが更に進んでいくことを願っています。



こども食堂  
ネットワークぐんま代表  
丸茂ひろみ

安中市子ども食堂連絡協議会設立記念大会の開催おめでとうございます。

「全国こども食堂支援センター・むすびえ」は、子ども食堂が現在全国に少なくとも 3718 カ所で開催されていると発表いたしました。群馬県におきましても、平成 30 年度は 26 カ所でしたが令和元年になり 43 カ所に増加して、その関心度の高さを感じます。

「こども食堂ネットワークぐんま」は 7 月 15 日で 1 周年となりました。各子ども食堂の多様性を認め合いながら加盟団体 23 カ所の仲間と情報交換の会議を随時開催しています。また、「食中毒を出さない!」ために、食品衛生関連の勉強会は、特に力を入れて今後も継続して毎年開催する予定です。当初子ども食堂は貧困対策というイメージが強く混乱も生じましたが、現在は世代を超えて誰もが行くことができる「安心安全な居場所」として根付きつつあります。群馬県では今年度より「子どもの居場所づくりコーディネーター」が配置されて、支援して下さる企業とのマッチングを含めてより包括的な視点から、子ども食堂が抱える様々な運営課題の解消にお手伝いくださることになりました。群馬県社会福祉協議会に事務局を置く「こども食堂ネットワークぐんま」では、子どもの笑顔のために新たな企画も考えながら成長していきたいと思っています。

## みんなで子育て ～広げよう、子どもの居場所～



安中市子ども食堂  
連絡協議会 代表  
宇佐見 義尚

住みよい「まちづくり」の拠点とされている市役所、病院、学校・保育園、博物館、図書館、文化会館、公園、公民館、福祉施設、商店街等の中に「子ども食堂」が当たり前の風景としてご近所にみられるような、そんな地域づくりの一助になればと、この度安中市のご支援をいただき「安中市子ども食堂連絡協議会」が発足になりました。

協議会発足を記念しての「子ども食堂フェスタ in 安中」のプログラムの中には、①子ども食堂の未来について、②安中市の子育てについて、そして③少子高齢社会のひとづくり・まちづくり・くにづくりに向けた様々な提案やメッセージが込められています。本日ご参集いただいた皆様とご一緒に、すべての子どもたちのための「子ども食堂」の可能性について考えることができれば幸いです。この「フェスタ」開催には、多くの方々の温かな、しかも熱いご支援があっはじめて実現することができました。この場を借りて関係各位に心より御礼申し上げます。

# 目次

## 1 「子ども食堂フェスタ in 安中」に寄せて

安中市長 茂木英子

こども食堂ネットワークぐんま代表 丸茂ひろみ

## みんなで子育て ～広げよう、子どもの居場所～

安中市子ども食堂連絡協議会代表 宇佐見義尚

### 第一部

## 3 トーク & コンサート「こどもたちへ」

ソプラノ歌手 倉原佳子

### 第二部

## 4 安中市の子育ては、四輪車で

安中市子ども食堂連絡協議会代表 宇佐見義尚

## 5 安中市の子ども食堂紹介

- ・子どもワクワク食堂  
月一回の子ども食堂から「生まれたこと」
- ・子供食堂和が家あんなか
- ・ジジババ子ども食堂

## 7 「安中市子ども食堂連絡会議」発足の経緯

安中市保健福祉部子ども課

## 8 子どもの居場所づくりの推進

群馬県こども未来部子育て・青少年課

## 9 安中子ども食堂共同農園

安中市子ども食堂連絡協議会代表 宇佐見義尚

## 10 「こども食堂ネットワークぐんま」の成り立ちと今後の課題

こども食堂ネットワークぐんま副代表 今村井子

## 11 全国の子ども食堂 3718 カ所に

全国こども食堂支援センター・むすびえ代表 湯浅誠

## 12 安中市で初！「子どもプチシェルター」（仮称）をつくりたい

子どもワクワク食堂実行委員会副委員長 木下幸二

### 第三部

## 13 映画上映「こどもしょくどう」

## 15 出店ブース紹介

## 16 協賛広告

## 35 ボランティア募集（裏表紙）



司会進行 新島学園高等学校1年 今村光一



# 第一部

## トーク & コンサート 「こどもたちへ」

ソプラノ歌手 倉原 佳子

### 陽のあたる場所はかならずある

私は声楽家として、今ではたくさんの方の前で歌い、CD を作って皆さんに歌を届けていますが、決して順調な道りを歩んできた人間ではありません。東京藝術大学音楽学部に入りましたがスランプに陥り、心機一転、オペラを本場で学ぶためにイタリアへ渡ったけれど、プロの歌手として食べていける人はほんの一握り。私はそこに入ることができなくて苦しんでいました。

同時に、イタリアでの私生活でもトラブルが続きました。夫からのドメスティックバイオレンス (DV)、乳ガンの発症。最愛のわが子と引き離され、容易に会えない日々。お金もなく、当時の私は未来が見えない、人生のどん底にいたのです。ただ子どもたちに会いたい、子どもたちに愛を伝えたいという願いだけが、私の生きる支えでした。

2015 年に帰国して以来、日本全国を行脚して歌い語りあゆむ「旅がらす」生活も 4 年目になります。そうした所々でたくさんの方とのご縁があり、素晴らしいお考えや活動に触れ、またそうした方々に私も歌声で感動をお返ししていくことで、「ゼロ」だった人生に少しずつ光が差し込むようになりました。

私がやるべきことはただひとつ。自分の子どもたちだけでなく、この地球上にいるすべての人に向けて、歌声を使って、祈るように愛を届ける。特定の宗教に縛られることなく、ありとあらゆる存在に感謝しながら、私は歌う。必ず届くと信じて。

本日の、このご縁に心からの感謝を申し上げます。



#### PROFILE

大分県竹田市出身。武蔵野音楽大学短期大学部を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科（イタリアオペラ専攻）卒業。藝大在学中、奏楽堂にて企画演奏した『瀧廉太郎記念音楽コンサート』を皮切りに、今日まで国際的活動を行なっている。1991 年よりイタリアに拠点を置き、2011 年イタリアスキーワールドカップ開会式にて外国人歌手初のイタリア国歌斉唱者となる。2011 年 3 月 11 日より、鎮魂と世界平和を祈るアカペラでの「アヴェ マリア」奉納の行脚をヨーロッパ各地で始める。2013 年 9 月 29 日、イタリア ティラノマリア大聖堂におけるマリア降臨 509 周年記念大ミサでの奉納演奏の様子は、パチカンのラジオマリアで世界中に実況放送された。2015 年 3 月 11 日、日本でのコンサート行脚を開始。2016 年、イタリア縦断音楽巡礼を企画公演。2017 年、イスラエル独立記念、エルサレム奪還 50 周年にちなむ公演にて、イスラエル国家斉唱。Yoshiko Kurahara World Tour2019/2020 は、歌声での国際交流として、地球規模へと広がる様相を見せている。国内ではコンサートをはじめ、「君が代」斉唱、神社仏閣や聖地での奉納演奏、愛の素粒子ヴォイスワーク新作品のレコーディングなど、現在は日本を拠点にその歌声を発信している。著書に、『自分を責めないで ～陽のあたる場所はかならずあるから～』（あさ出版）等がある。

<http://kuraharayoshiko.www2.jp/>



## 第二部 トーク「安中市の子ども食堂と未来」

子どもワクワク食堂 今村井子／子供食堂和が家あんなか 荒井浩司／ジジババ子ども食堂 宇佐見義尚／群馬県こども未来部子育て・青少年課 荒川雅道

# 安中市の子育ては、四輪車で 安中市子ども食堂連絡協議会設立記念大会に寄せて 安中市子ども食堂連絡協議会代表 宇佐見 義尚

2016年に安中市ではじめて「子ども食堂」ができて、今年2019年までの3年のうちに、1年たつごとにひとつふたつと増えて、現在3カ所の子ども食堂が活動しています。設立順に子どもワクワク食堂（2016年）、ジジババ子ども食堂（2017年）、子供食堂和が家あんなか（2018年）の3カ所です。この3カ所の子ども食堂が、お互いに助け合い、融通し合って、同時に切磋琢磨して質の向上を目指すための安中市子ども食堂連絡協議会（以下「協議会」と称す）を、本年2月に発足させました。

さらに安中市では、市の行政各部門の総力を挙げて設置された安中市子ども食堂連絡会議（以下「会議」と称す）と安中市社会福祉協議会（以下「安中社協」と称す）の二輪が加わり、ここに強力な「みんなで子育て」車を走らせるための安定した四輪車ができたといえるのではないのでしょうか。

1カ所の子ども食堂だけでは、なかなかできない今回のような「子ども食堂フェスタ」や、主に野菜の自給を通して「食育・農育」を取り入れた「安中子ども食堂共同農園」（以下「農園」と称す）事業などは、これらの四輪タッグがあって初めて可能になるように思います。こうした状況を、全国に先駆けて作り出した現安中市長をはじめ、関係者皆様のご理解とご尽力に心より敬意を表したいと思います。

子ども食堂の数は、小学校区（安中市は12校区あります）にひとつ以上あって、小さな子どもが一人でも歩いていけるような、そんな距離に、みんなで楽しく温かな食事ができる子ども食堂（家族のだんらんのような雰囲気の子どもの居場所）があることが、私たちの強い願いです。2016年、2017年、2018年に続く2019年の年内に、もし子ども食堂が安中市のどこかに開店すれば4年連続して子ども食堂が安中市に立ち上がることになります。

「子ども食堂」「協議会」「会議」「安中社協」の四輪が速度を合わせて、まっすぐに、安中市を「日本一の子育ての聖地」と呼ばれるようになるまで、大人の責任として、すべての子どもたちのために力の限りを尽くしていきたい。決して子どもを悲しませてはいけない。この「子ども食堂フェスタ in 安中」が開催される8月18日を「みんなで子育ての日」として心の奥深くにとどめて、どんな困難をも乗り越える知恵と勇気と行動力の源にしたいと思うのです。





# 子どもワクワク食堂

安中市松井田町新堀330(事務局) / 開催場所は毎月異なります

[問い合わせ] 電話 090-8041-7622

- 毎月1回開催 ●定員 30名(要予約)
- 料金: 子ども無料、保護者300円
- ★毎週水曜 テイクアウト部実施

NPO で子育て支援を担当したのをきっかけに、ひとり親のママたちや子どもたちを支えることができないかと模索し、全国で広がっている子ども食堂の取り組みを知り、「食でつながる子ども食堂」っていいなと考えたことから、2016年7月にスタートしました。

月1回の開催ですが、子ども食堂は「子どもを真ん中に置いた、みんなの居場所」になってきたことを実感しています。赤ちゃんから高校生、障がいのある方、外国籍のご家族、ボランティア…。「楽しく、自由で、発見に満ちている」場所になっています。

また、2年前に地元高校で突然お昼の購買がなくなり生徒たちが困っていると聞き、「子どもワクワク食堂 テイクアウト部」として材料の実費だけで惣菜の販売をスタートしました。毎週水曜、毎回30人前後の高校生が買いに来てくれ、スタッフのやりがいにもつながっています。



ある日のメニュー



たまごサンド、フライドチキン、ポテトサラダ、野菜スープ

テイクアウト部も大好評!



## 月一回の子ども食堂から「生まれたこと」 ～いろいろな人と接する経験・体験が、子どもも大人も笑顔にする～

初めて子ども食堂に参加したママから「涙が出るほど嬉しかったです。これからもずっと続けてほしいです」とのメッセージが届きました。たった月一回の子ども食堂だけど、そこで起こる化学反応に驚くことがたくさんありました。「いつもだったら食べない野菜を、今日は食べてる」と子どもの様子に驚くママたち。「みんなで食べるご飯は本当においしい」と普段は孤食だと仰る高齢者の方の感想。「初めて花火をした!」と嬉しそうに話す子どもたち。おいしいねと会話しながらみんなで食べるご飯は、何かを生み出す時間と空間をつくると感じた3年間でした。

少子高齢化の進むこの町で、「子ども食堂」がこれからどのように発展できるのか、どのような可能性を持つのかと考えることも多々ありました。この3年間を振り返ると、子ども食堂に集う人々は多様性に満ちていました。「楽しく、自由で、発見に満ちている」場所。未来を担う子どもたちと経験豊富な大人たち。一昔前だったら普通にあった「地域のつながりや光景」が無くなり、それを改めて市民自前で再構築し始めたのが「子ども食堂」であるような、そんな気がしています。

群馬県でも、いじめの認知件数や虐待件数が過去最高を記録しています。これまで多くの方たちから「この辺では貧困も、虐待も、いじめもないでしょ」と言われました。しかし、「きっと無いだろう」と思っていると子どもの声は聞こえてきません。「どこかで困っている子どもがいるかもしれない」「誰にもいえずに悩んでいるかもしれない」と大人たちみんなが、気にして耳を傾けてほしい。声をかけてほしい。いつも元気に挨拶している子どもが曇った表情をしていたらきっと気付く、だから大人たちみんなの力が必要だと思います。「子育てを応援する地域をつくる」とは、子どもを尊重し、それを育む大人がたくさんいることから始まるのではないのでしょうか。





# 子供食堂 和が家あんなか

安中市安中1-16-38 デイサービスセンター彩とり内

[問い合わせ] ☎ 027-380-1212

- 毎月1回開催 ●定員 20名(3歳～18歳、保護者)
- 料金 子ども無料、保護者100円

住宅型有料老人ホームやデイサービス、居宅介護支援事業を運営する(株)サムエスが展開する「子供食堂和が家あんなか」は、平日の夕食の時間帯に実施しているのが特徴的です。

もともとは、施設入居者の皆さんに子どもたちと触れ合う機会を提供したいという趣旨でスタートしました。現在は施設職員とその子どもたちの参加が主ですが、今後も地道に周知拡大し、地域の方々を広く受け入れていきたいと考えています。

近年、核家族化や両親の共働きにより、子どもたちの「孤食」が増えているといえます。施設入居者のおばあちゃん・おじいちゃんと一緒に囲む食卓は、まるで「わが家」のような温かい時間。手作りの温かい食事と、笑いの耐えないアットホームな時間を、これからも提供していきます。



チャーハン、ワンタンスープ、春巻き、ギョウザ、ぎゅうりステイック、杏仁豆腐

# ジジババ子ども食堂

安中市松井田町人見225-1 板垣與一記念館内 図書館カフェ南ヶ丘

[問い合わせ] ☎ 080-3539-8887

- 毎月1回開催 ●定員:15名(要予約)
- 料金 子ども100円、保護者200円

ジジババ子ども食堂のはじまりは2017年の9月。板垣與一記念館の社会貢献事業の一環として敷地内に「図書館カフェ南ヶ丘」を開店させたことに始まります。当初は、毎月最終土日の二日間の開催で、土曜日は16時から19時までの夕食を、日曜日は11時から14時までのランチを楽しみながら誰もが参加できる、ちょっとした「おしゃれな食事会」のようなものを目指していました。

子ども食堂の理想的なあり方をめぐって、様々な試行錯誤を繰り返しながらの2年間でした。たどり着いた形は、毎月最終土曜日のランチ会を大人たちの生涯学習(「生涯青春塾」塾料は全額子ども食堂運営費に寄付)の場に、翌日日曜日のランチ会を子どもの食育の場にする事によって、地域の開かれた「みんなで子育て」応援の拠点となる理念と経済的自立の下地が作られてきたように思います。子ども食堂を開催し続けることで、様々な可能性が生まれ出されることに驚いています。子ども食堂は、地域の「絆」を生み出す「魔法の食堂」であるかもしれません。ひとづくり、まちづくりの中心に子ども食堂を置くことで、持続可能で成熟した安心安全なまちづくりができるように思います。



コーンチャーハン、ハンバーグ、子ども農園産サラダ、ミニグラタン、デザート



# 「安中市子ども食堂連絡会議」発足の経緯

## 安中市保健福祉部子ども課

安中市では、市、教育委員会、社会福祉協議会、関係団体等が参加し、子どもの貧困、親の孤立等、子どもや子育て世帯が抱える問題について、その深刻化を未然に防ぐことを目的に、子ども食堂を活かしたセーフティネットの構築に向け、自治体と子ども支援に取り組む団体・個人が課題を共有し、必要な仕組みづくりのための協議を行なう場として、「安中市子ども食堂連絡会議」を平成31年4月に設置いたしました。

ここでは「安中市子ども食堂連絡会議」設置までの経緯を紹介させていただきます。

はじめに、ネットワークづくりのきっかけですが、平成29年10月、市長宛に子ども食堂運営団体から「子ども食堂の運営に関する要望書」が提出されました。その内容は、場所・資金・人材確保等について市民団体と市が協力して検討していくことや、「子ども食堂」の周知に関すること、子どもの福祉や教育に係わる部署が参加し、「子ども食堂連絡協議会」を立ち上げてほしいというものでした。

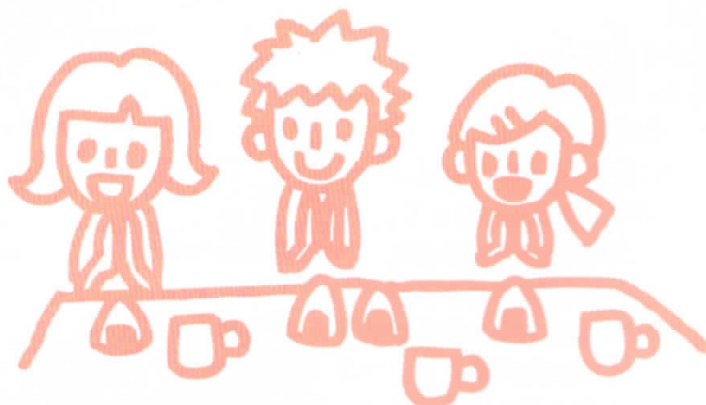
そこで、平成29年11月に「子ども食堂に関する意見交換会」として、福祉課・子ども課・社会福祉協議会・子ども食堂2団体で協議を行ないました。2回目から教育委員会からも参加してもらい、福祉部門・教育部門が連携し、計4回の会議を行ないました。

平成30年度施政方針においては『子どもの居場所づくりとして実施する「子ども食堂」につきましては、関係機関と協力を図りながら連絡協議会を立ち上げ、子ども食堂の運営を積極的に支援して参ります。』と市長が表明するなど積極的な支援を行なう方針となりました。

平成30年4月からは、名称を「安中市子ども食堂連絡協議会設立準備会」に変更し、平成31年1月までに9回開催しました。この間、人材・食材・設備等の相互協力体制づくり、広報や普及活動の効果的な方法などを、参加者全員でアイデアを出しながら取り組んで参りました。

平成31年2月18日には、市内の子ども食堂3団体により「安中市子ども食堂連絡協議会」が設立されました。この協議会では共同農園を運営し各団体で食材として使用するなど、他では見られない取り組みを行なっています。

本年度の市の取り組みといたしましては、子ども食堂の活動を支援するため、新規事業として協議会に対して補助金を交付いたします。また、冒頭で記しましたように「安中市子ども食堂連絡協議会設立準備会」を発展させて、庁外に「安中市子ども食堂連絡協議会」と、庁舎内に「安中市子ども食堂連絡会議」を設置いたしましたので、定期的に情報交換等を行ないながら子ども食堂の活動を支援して参ります。





# 子どもの居場所づくりの推進

群馬県こども未来部 子育て・青少年課

## 目標

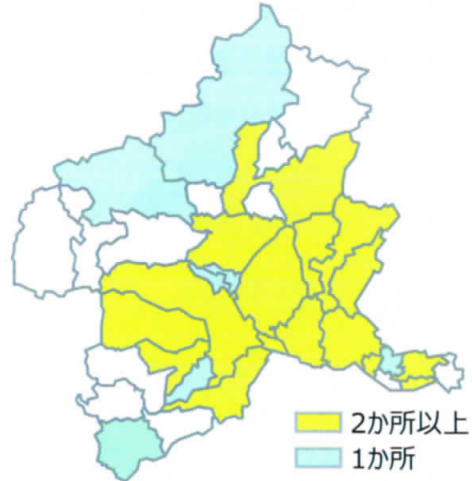
子どもが安心して将来に夢を抱ける  
「子どもの居場所」が、あたりまえにある地域社会へ

## 課題

### 現状

- 子どもの居場所の全国的広がり背景下、  
県内の子どもの居場所は、2年で急増  
子ども食堂 5→46 団体 学習支援 26→44 団体  
その他 12 団体 ※H29.3→H31.3 重複有  
※子どもの居場所づくり応援事業補助金利用件数  
H29…16件 H30…17件
- 団体間のネットワーク形成  
こども食堂ネットワークぐんま設立 (H30.7)  
学習支援団体 (H29.12以降情報交換)
- 子どもの居場所の多くは、ボランティアや寄付で運営  
食材・物資 人材等のニーズあり

〈「子どもの居場所」がある市町村〉



### 課題

1. 「子どもの居場所づくり」の県域展開
2. 地域ごとの関係機関（支援団体、学校、行政等）との連携体制構築
- 3 子どもの居場所におけるニーズと社会資源の広域的なマッチングの仕組みづくり

## 対策

H31 地域の特性を活かした多様な居場所の県域展開と取組をサポートするための仕組みづくり

### 子どもの居場所開設補助

・新設・事業拡大に係る経費上限 20万円

見直し・継続

### 子どもの居場所開設補助制度の見直し・継続実施

・補助対象を新規会場開設に限定し、未設置地域を中心に採択

ボランティア・地域コーディネーター養成研修、  
啓発セミナー開催、実践事例集作成

見直し・継続

### ボランティア養成研修、啓発セミナーの継続実施

・地域コーディネーターを活用し、スキルアップ研修、啓発セミナーを継続実施

地域  
ネット  
ワーク  
形成支援

### 地域別市町村会議

・体制整備に係るヒアリング等

継続

### 地域別市町村会議（地域版県域協議会立ち上げ支援）

・市町村を中心とした居場所とコーディネーターを活かした体制整備の支援

県域協議会 9月18日設置  
・関係団体、自治体等

継続

### ぐんま子どもの居場所づくり応援県域協議会

・子どもの貧困、子どもの居場所に関する情報共有、県域的な課題の協議

H30 居場所を増やすための  
機運醸成、体制整備

新

### 子どもの居場所づくりマッチングコーディネーター設置

・子どもの居場所における食材や人材等の支援ニーズと、社会資源の広域的なマッチングを図るコーディネーターを、子育て・青少年課に配置

【主な業務】

- 企業、社福、NPO等を訪問し、食材・物品・人材・体験活動等の協力を得る
- 居場所実践団体と支援を結ぶマッチングイベントを開催
- 地域コーディネーターとの連携

市町村・民間団体の協働による居場所の充実と、  
質的向上を目指した研修体制の確立



# 安中子ども食堂共同農園

安中市子ども食堂連絡協議会 代表 宇佐見 義尚

国道 18 号線の「高別当交差点」から北へ 500 メートルほど入ったところに、300 坪の肥沃な野菜畑「安中子ども食堂共同農園」が、2018 年 9 月に開園しました。

子ども食堂で使う食材を、寄付だけに頼らないで自給し、あわせて子どもたちへの食育・農育（農業を通じた食育）を体験する目的で計画されました。これまでに、白菜、玉ねぎ、ブロッコリー、安中ロマン、坊ちゃんカボチャ、ジャガイモ、サツマイモ、ズッキーニ、水菜、ハウレンソウ、トウモロコシ、きゅうり、スイカ、里芋等を栽培いたしました。子ども食堂でランチを終えてから、子ども農園に集まり、野菜畑で、草取りをしたり、青虫を取り除いたり、育った野菜を収穫したり、子どもたちは青い空の広い畑の中で過ごします。



青虫をみつけよう!



安中市のブランド野菜  
「安中ロマン」(ロマネスコ)

ぼくが自分で収穫した!



## ■回遊式野菜農園の構想

この広い畑に、日本各地のブランド野菜と世界各国の野菜を何百種類も植えて、まるで野菜の植物園のような、美しい「子ども農園」を作ろうと構想しています。

空と大地と風があって、水は日本古来の伝統技法で無形文化財第一号に指定された「上総掘り」(かずさほり)の井戸(直径 10 センチ余りの孟宗竹を使って、地下水脈を壊さない大地にやさしい井戸)を建てて、風車を作り、小さなベンチを置いて、尾瀬の木道のような道を畑の中に巡らして、子どもを中心に、誰もが憩えるそんな「子ども農園」の建設を、亥年の今年 2019 年から 12 年間で計画を完成させたいと考えています。





# 「こども食堂ネットワークぐんま」の成り立ちと今後の課題

こども食堂ネットワークぐんま副代表 今村 井子

平成 28 年 10 月 16 日、社会活動家の湯浅誠氏が「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー」の参加要請に群馬県庁にいらっしやいました。それに呼応する形で、群馬でもと県内 4 ヲ所の子ども食堂と北関東フードバンク、県社協が中心になり、平成 29 年 4 月 11 日（火）、「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー in ぐんま」立ち上げの第一回実行委員会が開催されました。同年 9 月 10 日、「全国ツアー in ぐんま」が前橋市内で開催され、200 名以上の参加者を得てこども食堂を広げる意味などについて活発な議論が交わされました。

その取り組みから、県内の子ども食堂を始めたい人や参加したい人を結びつけ、こども食堂同士の交流を深めこども食堂の輪を一層広げるために、「こども食堂ネットワークぐんま」の設立構想が浮かび、平成 30 年 2 月に第一回設立準備会から五回の準備会を経て、同年 7 月 15 日「こども食堂ネットワークぐんま」設立大会が群馬県社会福祉総合センターで開催されました。

現在、県内のこども食堂は 43 ヲ所となり 3 年前の 20 倍以上に急増。運営資金の問題や教育委員会や子育て行政関係機関との連携強化、こども食堂の質の向上、こども食堂の幅広い告知など課題は山積しています。しかし、これだけ多くのこども食堂が一気に増えたことは、子どもたちを地域で育みたいという大人たちの熱い思いが集まったためといえるのではないのでしょうか。この思いを継続する形を模索し、こども食堂の新たな発展を推し進めたい。そのために「こども食堂ネットワークぐんま」の果たすべき役割は大きく、その責任の重さを痛感します。

## 加盟 23 団体 (2019 年 7 月 24 日現在)

ほか、県内では全 43 ヲ所のこども食堂があります。

### 【高崎市】

3. みんなでごはん（下小場町）
4. みんなの食堂「まんまる食事会」（新町）
5. サミート子ども食堂（鞆町）
6. 食育レストラン晴れのひ（大八木町）

### 【安中市】

16. 子どもワクワク食堂（市内各公民館等）
17. ジジババ子ども食堂（松井田町）

### 【富岡市】

15. みつばち食堂（妙義町）

### 【前橋市】

1. 桂萱こども食堂（上泉町）
2. あつまれ前橋スポット（後閑町）

### 【伊勢崎市】

10. うめきこども食堂（安堀町）
11. 二葉こども食堂（茂呂南町）

### 【桐生市】

7. 桐生街なか地域食堂（本町）
8. あいおい子ども食堂（相生町）
9. コスモスこども食堂（相生町、境野町）

### 【太田市】

12. 仲よし食堂おあしす（新井町）

### 【みどり市】

18. みどりこども食堂ふう（笠懸町）
19. とまり木食事会（大間々町）

### 【藤岡市】

14. かがやき食事会（本動堂）

### 【玉村町】

20. 板井子ども食堂（板井）

### 【館林市】

13. あかるい未来ネット（富士原町）

### 【大泉町】

21. おおいずみっ子食堂（吉田）

### 【協力団体】

22. フードバンク北関東（館林市）
23. フードバンクまえばし（前橋市）

「こども食堂ネットワークぐんま」および各子ども食堂に関するお問い合わせは、群馬県社会福祉協議会 生活支援課までご連絡下さい。TEL.027-212-0011 新規加盟団体も随時受付しております。



# 全国の子ども食堂 3718カ所に

全国こども食堂支援センター・むすびえ代表 湯浅 誠

こども食堂が増え続けている。この一年間だけで約1400カ所増えて、全国に少なくとも3718カ所。子ども専用食堂ではない。地域の交流拠点だ。3年間で12倍になった。

## 歩いていける範囲に

家庭でも学校でもない第三の居場所（サード・プレイス）は、すべての子がアクセスできることが望ましいと考えている。目指すは小学校と同じ数、2万だ。やはり歩いていける範囲になければ、「すべての子がアクセスできる」とは言えないから。子どもの選択肢を広げる、子どもの育ちの応援。貧困とは、選択肢が狭まることだから。

## 親もホッとできる場所

いくら我が子がかわいくても、365日ずっと一緒にいれば、疲れるときもある。「子ども食堂で、最後まで帰りがらないのは、お母さんたち」とは、よく聞く「子ども食堂あるある」だ。子ども食堂は、家庭力を上げる。「誰かがいるから、がんばれる」ってある。

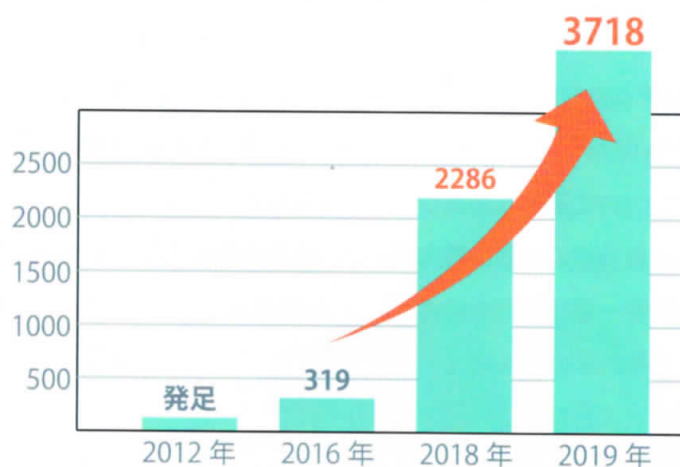
私が子ども食堂で会った調理ボランティアの最高年齢は91歳の女性だった。彼女は「自分が元気をもらってる」と話していた。だから、大事なことは「やりたい人が『やりたい』と言える空気をつくる」こと。そのためには、どこにでもあるよね、あるのがふつうだよ、という感じにしたい。まだまだだが、ここまでは来た。より多くの子ども、そして大人たちが、アクセスできる、その風景をあたりまえにしたい。

（承諾の上、Yahoo!記事より引用／文責・引用者 安中市子ども食堂連絡協議会 今村井子）



### PROFILE

1969年東京都生まれ。日本の貧困問題に携わる。1990年代よりホームレス支援等に従事し、2009年から足掛け3年間で閣僚参与に就任。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。現在、東京大学先端科学技術研究センター特任教授の他、NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長など。著書に『子どもが増えた！人口増・税収増の自治体経営』（泉房穂氏との共著、光文社新書）、『なんとかする』子どもの貧困』（角川新書）、『反貧困』（岩波新書、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞）など多数。



全国で急増している子ども食堂。より多くの子ども、大人たちが「あたりまえ」にアクセスできるよう、2万カ所にまで伸ばしていく。

皆様へ

# 安中市で初！ 「子どもプチシェルター」(仮称) をつくりたい

子どもワクワク食堂実行委員会 副委員長 木下 幸二

子どもたちが「困ったとき」に。行き場がないときに。

いったん休める場所があったらいいな。

子どもたちの言葉を受け止める場所に。

子どもたちが安心して声を発せられる場所に。

「子どもプチシェルター」(仮称) は、

そんな想いでスタートしました。

まずは、子どもたちが主役！

子どもたちの直接の意見はもちろん、心地良い居場所についてや悩み事、  
やってもらいたいことなど何でも投函できる「子どもの声ポスト」を設置します。



## 「子どもプチシェルター」の今

当食堂実行委員会のおばあちゃんが住んでいた古い家を改築して、

新たなキッチンとトイレと部屋ができました。

日帰りでも、1泊、2泊でもできるように。

そんな居場所を目指して、現在準備をしています。

時には学舎に、時には遊び場に、変身して居心地の良い自由な空間に。

そして、一緒にこの場所を作ってみたいボランティアさん募集中です。

(もちろん、寄付も受け付けています)





# 第三部

## 映画上映「こどもしょくどう」

(映画「こどもしょくどう」ホームページより)

### 子ども達の視点からみた「子ども食堂」

豊かに見える今の日本社会のひずみを受け、満足な食事をとることのできない子ども達がいることをご存知でしょうか。

そんな子どもたちの拠り所となる“子ども食堂”が、地域の新たなコミュニティの場として全国各地に広がっています。なぜ今子ども食堂が必要とされているのか…。そのテーマを子ども視点から描き出したのは、『火垂るの墓』で戦禍のなか精一杯生きる兄妹と向き合った日向寺太郎監督と、2014年『百円の恋』（武正晴監督）で日本アカデミー賞最優秀脚本賞を受賞した脚本家の足立紳。2年に渡る脚本づくりを経て、弱者に不寛容な現代社会でも、子どもの純粋な気持ちは社会を変えることができるかもしれない、という希望が見える作品が誕生しました。そしてダブル主演の藤本哉汰、鈴木梨央らの瑞々しい姿、ユウトの両親を演じる吉岡秀隆と常盤貴子の温かい眼差しが心を打ちます。

先進国の中では突出して「相対的な貧困状態」にある子どもが多い現代の日本。厚生労働省発表の「子供の相対的貧困率」は16.3%に上り、6人に1人の子どもが貧困状態にあるといえます。こうした中、子どもの貧困対策のひとつとして注目を集めたのが「子ども食堂」です。現在は貧困対策としてだけでなく、地域のコミュニティの場として、役所や地元企業、住民たちの協力により全国に広がり、運営形態は様々ですが、子ども食堂とされる場所は全国に2000か所以上あると言われています。場所、食事、時間帯など運営者によって変わりますが、基本的には、無料または数百円で子どもたちに食事を提供するスタイルです。

ただし、ボランティアによる運営も多く、子ども食堂を続けることの難しさや、地域の理解、本当に温かい食事を必要としている子どもに届いているのかなど、課題も出始めています。

### 本編あらすじ

小学5年生の高野ユウト（藤本哉汰）は、食堂を営む両親と妹と健やかな日々を過ごしていた。一方、ユウトの幼馴染のタカシの家は、育児放棄の母子家庭で、ユウトの両親はそんなタカシを心配し頻りに夕食を振舞っていた。

ある日、ユウトとタカシは河原で父親と車中生活をしている姉妹に出会った。ユウトは彼女たちに哀れみの気持ちを抱き、タカシは仲間意識と少しの優越感を抱いた。

あまりに“かわいそう”な姉妹の姿を見かねたユウトは、怪訝な顔をする両親に2人にも食事を出してほしいとお願いをする。

久しぶりの温かいご飯に妹のヒカルは素直に喜ぶが、姉のミチル（鈴木梨央）はどことなく他人を拒絶しているように見えた。

数日後、姉妹の父親が2人を置いて失踪し、ミチルたちは行き場をなくしてしまう。これまで面倒なことを避けて事なかれ主義だったユウトは、姉妹たちと意外な行動に出始める――。







僕はいつも  
知らんぷりしていた。

希望を捨てたくない子ども達は驚くべき行動にでた——。

# こどもしよくどう

監督 日向寺太郎

藤本哉汰 鈴木梨央

浅川 蓮 古川 凜 田中千空 林 卓 / 降谷建志 石田ひかり  
常盤貴子 吉岡秀隆

主題歌:「こどもしよくどう」作詞/後 万智 作曲/谷川公子 編曲・演奏/Castle in the Air(谷川公子+渡辺香津美) 唄/古川 凜 田中千空  
製作:鈴木ワタル/岡井哲也 エグゼクティブプロデューサー:岡本東郎 プロデューサー:岩村 徹/行実 良 原作:足立 紳 脚本:足立 紳/山口智之 撮影:鈴木達夫 照明:三上日出志 録音・音響効果:橋本泰夫 美術:丸山裕  
編集:川島章正 音楽:Castle in the Air(谷川公子+渡辺香津美) 装飾:富山和久 助監督:谷口正行 制作担当:渡辺昌英 VFXスーパーバイザー:立石 勝 衣裳:宮本茉莉 ヘアメイク:小澤なな スチール:遠藤智宏  
製作協力:吉澤敏文 助成:文化庁文化芸術振興費補助金 製作:パル企画/コピライツファクトリー/パップ 配給:パル企画 ©2018「こどもしよくどう」製作委員会  
(2018/日本/カラー/ビスタサイズ/5.1ch/93分)

<https://kodomoshokudo.pal-ep.com>



# 出店ブース紹介 12:00～14:00

エントランスホールにて

■子ども食堂 ■子どもの居場所づくり協力 ■地域のサポート団体 企業

あつまれ前橋スポット(前橋市)	赤飯、サラダ、コーヒー、ラムネ、麦茶+おまけ ¥50～100
みどり子ども食堂ふう(みどり市)	キャンディーレイ作り ¥200
あいおい子ども食堂(桐生市)	折り紙&けん玉
とまり木食事会(みどり市)	缶バッジ作り ¥200～好きな布で作れます。猫型もあり!
子どもワクワク食堂&おかえり(安中市・高崎市)	やきそば・フランクフルト ¥100～
ジジババ子ども食堂(安中市)	焼き菓子プレゼント
こじはん塾(安中市)	ジュース(梅・しそ) ¥100・ジャム(桑の実・ルバーブ) ¥300
JOYクラフト(前橋市)	スイーツデコワークショップ ¥200～
安中子ども食堂共同農園	野菜販売 ¥100～
クリア(安中市)	手作り品販売
子どもワクワク食堂&ちんねん屋(安中市)	駄菓子&軽食 ¥20～
手作りパンの店ドリーム	手作りパン ¥60～
シナリー化粧品	化粧品サンプル配布
群馬ヤクルト販売(株)	飲料の試飲・健康相談
サミート子ども食堂(高崎市)	宿題ワンポイントレッスン 参加無料
食育レストラン 晴れのひ(高崎市)	食べ物に関するクイズやゲーム・お菓子つき 参加無料
ママの働き方応援隊群馬西校	キラキラドーム、思い出手形 ¥300
群馬子どもの権利委員会(前橋市)	子どもの権利かるた など出張授業の展示紹介
大泉町の子ども食堂(大泉町)	展示発表など
赤城自然園	チラシ配布
NPO法人学習塾HOPE(県内各地)	チラシ配布・進路相談
(株)globeコーポレーション	チラシ配布
関東新聞販売(株)	こども新聞無料配布
高崎チンドン倶楽部	オープニングアクト
踊らん会	オープニングアクト
チアダンスチームBLOSSUM	オープニングアクト

ご支援くださった皆様に心より御礼申し上げます。

本大会の開催におきまして、多くの方のご支援とご協力に感謝申し上げます。協賛広告主の皆様には改めて御礼のご挨拶および当冊子を郵送させていただきます。

いただいた協賛金や寄付は、本大会の実施・宣伝等のほか、安中市内3カ所の子ども食堂の運営費用として大切に活用させていただきます。

## 手作り雑貨のお店 chouchou- シュシュ-

安中市安中 1296-2 TEL.027-395-4694

## オコノギ治療院

安中市松井田町二軒在家 441 TEL.027-393-1915

## 株式会社ミウラ

安中市嶺 1467 TEL.027-385-6507

## アイズ・ファクトリー

安中市中秋間 67-1 TEL.027-382-8929

### 個人協賛（敬称略、順不同）

仁尾公男・幸枝、宇佐見大地・みのり・鴻、安藤真樹、小澤美香、上原智登世、櫻井宏幸・喜久江、内山敬・弘美・真宏・真伽、渡邊勝美、吉田毅、日根野楓真・仁真、木下仁・幸子・智美・幸二、高橋みどり、小坂橋京子、柳澤政之、今井友美、碓林堂印刷

ほか、匿名の個人の方や地元企業・団体、農家の方々等、たくさんの方にご支援いただき心より感謝申し上げます。協賛金は、イベントの実施・運営費として大切に活用させていただきます。

### 子ども食堂フェスタ in 安中 実行委員・スタッフ、協力

【子どもワクワク食堂】今村井子、日根野聖子、高橋美幸、山田富士江、小宮弥生、木下幸二、中津川好孝、中津川由紀江、岩井美苗、小河雅史、櫻井年久、市川久美子、櫻井喜久江、他3名／【子供食堂和が家あんなか】荒井浩司、富澤綾子、宮川真紀、清水龍二／【ジジババ子ども食堂】宇佐見義尚、内山敬、木村亜紀、広上雅宣／【ボランティアスタッフ】内山弘美、高橋みどり、島田康太郎、金井亮、今村光一、今村友紀、日根野楓真、日根野仁真、高校生ボランティア（松井田高等学校、安中総合学園高等学校、新島学園高等学校）／【協力】渡邊友子、小宮清、池田望（チラシデザイン）／阿部功（写真撮影協力）／岡本裕介（安中市社会福祉協議会 手話通訳・横断幕作成協力）／河村芳子、鎌田えみ子（映画上演）／後閑あさひ保育園（託児協力）／シミちゃん夫妻（菓子提供）／高崎チンドン倶楽部、踊らん会、チアダンスチーム BLOSSUM（オープニングアクト）

子ども食堂の普及、理解促進に向けて、今後も邁進いたす所存でございます。どうか末永いお力添えをいただきますよう宜しくお願い申し上げます。（安中市子ども食堂連絡協議会 関係者一同）

### 子ども食堂フェスタ in 安中 Vol.1 安中市子ども食堂連絡協議会 設立記念大会

2019年8月18日 発行

発行 安中市子ども食堂連絡協議会  
編集 「子ども食堂フェスタ in 安中」実行委員会  
編集協力 株式会社 globe コーポレーション



／ 広げよう！地域のWA！ ／

# ボランティア募集

安中市子ども食堂連絡協議会では、子ども食堂や子ども農園の運営・管理をお手伝いしてくれるボランティアや、子ども食堂への食材・物資提供してくれる方を常時募集しています。できる人が・できることを・できる範囲で、お願いできればと考えています。ぜひ一緒に、子どもや地域の居場所づくりをしませんか？

## 子ども食堂 スタッフ

実施場所 安中市内の子ども食堂（3カ所）  
実施日 全会場で月3回程度（不定期）  
実施内容 ・調理、調理補助 ・配膳、片付け  
・参加者（来場者）対応  
・レクリエーションの運営 等

★毎週水曜（～13:00）販売スタッフも募集中



## 食材・物資 提供支援

受付場所 安中市内の子ども食堂（3カ所）  
受付内容 ・調味料（賞味期限内のもの）  
・米、野菜、果物、缶詰、乾物等  
・お皿、箸、コップなどの食器類  
・調理器具  
・タオルや布巾などの消耗品



## 子ども農園 スタッフ

実施場所 安中市子ども食堂 共同農園  
（国道18号「高別当」交差点から北へ約500m）  
実施日 できる時にできるだけ  
実施内容 ・野菜の作付、水やり、収穫  
・周辺の草取り  
・各子ども食堂への配達



その他、私たちの活動に賛同して下さる個人・団体・企業の方、「こんなことが一緒にできるかも？」というひらめきを感じられた方、ぜひ一緒に子ども食堂を盛り上げていきましょう！

## 応募方法・問い合わせ

下記連絡先までお気軽にご連絡ください。

安中市子ども食堂連絡協議会 事務局  
安中市松井田町人見 225-1（ジジババ子ども食堂）

090-3819-4770（宇佐見）

090-8041-7622（今村）